

REPORT 「都島区まちづくりビジョン2040シンポジウム」を開催しました！

「都島区まちづくりビジョン2040」の策定にあたり、ビジョンを共有し都島区の未来を考えるシンポジウムを、3月12日(木)にQUINTBRIDGEで開催しました。

基調講演『15分都市とは～都島区での実現に向けて～』（嘉名 光市 教授）



15分都市とは、徒歩や自転車で暮らしに必要なものに出会えるまちのことです。これからの都市は、住む・働く・楽しむといった機能を分けず、身近な範囲で「混ぜる」ことが大切です。パリでは、「5分でパンが買えるか」「家族で遊べる場所があるか」といった日常の豊かさを測る指標が示されています。都島区でも地域の特性を活かし、身近な暮らしを楽しみながら、みんなでまちを育てていく視点が重要です。

都島区のこれから パネルディスカッション

「都島区まちづくりビジョン2040」の内容を踏まえて、都島区のまちづくりのプレイヤーを交えて、地域の魅力の活かし方や交流、にぎわいの生み出し方について議論が行われました。

「都島区まちづくりビジョン2040」について

ビジョン策定に多くの区民や私たちの思いが反映されていると感じる。コミュニティ強化と、自助・共助を高める防災意識の向上を重視したい。

中部エリアは「15分都市」の機能を満たす一方、価値を実感する人は少ないと思う。地域の魅力再発見には、発信強化と担い手の巻き込みが必要。



京橋公園の社会実験を見て、まちの変化が着実に起きていると実感した。ビジョン実現に向け、身近な目標とロードマップを描くことも重要。

15分都市に触れつつ、「機能」だけでなく「人の交流」に着目している点が良い。区全体でコミュニケーションが可視化され、誰もが居場所を感じるまちを期待。

具体的なアイデア

- ・エリアや属性を越えたプレイヤーの連携促進
- ・地元消費を促す仕組みづくり
- ・個人店や人に出会える動線づくり
- ・川沿い空間の魅力向上と防犯対策の両立
- ・読書や飲食など、淀川河川公園の日常的な活用
- ・子どもと過ごす身近な自然体験の場づくり

会場から寄せられたご意見・ご質問

当日は、会場参加者からも多くのご意見やご質問をいただきました。

- **働く・暮らすを近づける視点**
 - ・区内の中小企業の立地を活かして、職住近接の働き方の推進が重要
 - ・地元企業の魅力を発信し、地域で働き、活躍できる環境づくりが必要
- **子ども・若者視点のまちづくり**
 - ・子どもの遊び場や自然体験の場が不足している
 - ・小学生の体力向上の取組など、地域の強みとなる活動の継続も重要
- **居場所づくりと回遊性の向上**
 - ・公園利用と周辺店舗の立ち寄りを組み合わせるなど、まちの回遊性を高める仕組みが必要



INTERVIEW まちのキーパーソンインタビュー

No. 09 | 佐々木 裕さん

都島をもっと面白く—小さな「きっかけ」づくりが、このまちのポテンシャルを呼び覚ます—



佐々木 裕 (ゆたか) さん | PROFILE
 小学校教員を退職後、都島でお酒も飲めるご飯処「燈舎」(ともしや)を開業。現在は店主として働く傍ら、音楽や教育など幅広く活動。都島の応援ソング「希望の都」を制作し、地域の魅力発信に取り組んでいる。

歌が繋いだ縁、人が紡ぐ未来。都島に眠る「まちの魅力」をかたちにする

音楽活動や教員経験を通じて、都島に根差した繋がりを築いてきました。広報誌で見かけた清水明日香さんとの出会いから音楽ライブが実現し、そこから都島チャンネル等の新たな活動へとつながりました。

ただ住んでいるだけでは得られなかった人との縁こそがこのまちで楽しく生きる原動力となっています。この温かな輪を大切にこれからも地域活性化のお手伝いできればと思っています。

「少しずつ」を積み重ねて、都島の「まちの魅力」を広げ、まちに新しい動きを生んでいく

音楽活動を通じ「天いち音楽祭」に3年連続で参加しています。数店舗から始まった試みが着実に広がる姿を目の当たりにし、実感したのは「少しずつ進める」ことの大切さです。都島区には、個性あふれる素敵な人がたくさんおられると思います。また、魅力的な場所も数多くあります。最初から大きなことを目標とせず、小さな活動を積み重ねて、都島の魅力を知るためのきっかけを丁寧に届ける、その地道な歩みこそが、都島を住み続けたい場所へと変えていくための近道ではないかと考えています。

見知らぬ方とも自然と挨拶や会話が生まれる場へ—商店街から育む「ゆるやかな繋がり」と街の未来—

No. 10 | 中田 理菜さん

誰もが親しみやすい、子どもから大人までが自然体でいられる「第3の居場所」を目指す

城北公園通駅近くの大東商店街で「まちたねcafe&books」を運営しています。商店街活性化施策を機に出店しました。現在は思っていた以上に多くのお子さんの活気に支えられています。

大切にしているのは、特定の目的がなくても立ち寄って挨拶がしたくなるような、ゆるやかな場づくりです。通学路となっている大東小学校のお子さんとの挨拶や会話を交わすことが日常になっています。お店だからこそ安心して話せる会話を通じて、地域との繋がりを広げていきたいと考えています。

ここを起点に、誰もが自然体でいられる「第三の居場所」をまちの中に育てていきたいです。

まちの方の挑戦を応援し、まちを明るく。共創が生まれる「大東商店街」を目指して

シェア型書店や貸しスペースの提供などを通じて、「ここで何かをしてみたい」という想いを後押しし、新たな活動が生まれるきっかけ作りを意識しています。共感してくださる方々と共に徐々に歩みを広げていき、この店を通じてまちの皆さんの温かさを感じられる時間をお届けしたいです。



中田 理菜さん | PROFILE
 大東商店街で「まちたねcafe&books」を運営。経営する会社の第2の事業として多世代が集い続ける場づくり、挑戦が生まれる場づくりを目指す。店主として共創のまちづくりを実践中。

REPORT

「京橋にぎわいマルシェ」第2弾の開催！ 京橋公園に都島のモノ・コト・ヒトが大集合！！

3月7日（土）に京橋公園で「京橋にぎわいマルシェ」第2弾を開催しました。当日は気持ちの良い青空に恵まれ、子どもから大人まで多くの方にご来場いただきました。会場には、多彩な出店が並び、公園全体ににぎわいが広がりました。

音楽とダンスで一体に！ ～スタジオブース～

スタジオブースでは、大阪府立東高校ダンス部の迫力あるステージをはじめ、櫻宮地車保存会による地車囃子の演奏や、みやこじまチャンネルの音楽ライブ、DJ企画など、バラエティ豊かなプログラムで会場が大いに盛り上がりました！

音楽に合わせてエリア内をみんなで行進したり、観客も一緒にパーカッションを鳴らしたりと、会場が一体となる参加型の企画も登場。自然と笑顔が広がる、にぎやかなひとときとなりました。

都島区にゆかりのある出演者の活動を、多くの方に楽しく知っていただける機会にもなりました。



都島区の魅力が詰まった ～マルシェ・飲食ブース～



マルシェ・飲食ブースには、区内を拠点に出店・活動するショップやキッチンカーが大集合しました。公園内では、購入したフードやドリンクを片手にゆったり過ごしたり、お店の人との会話を楽しんだり、思い思いの時間を楽しむ姿があちこちで見られました。地元のお店やクリエイターの魅力に触れられる一日となりました。

のびのび&チャレンジ！ ～子どもブース～

「工作スペース」では、木工道具を使って廃材から作品をつくったり、空き箱やお絵かきに取り組んだり、それぞれが手を動かしながら試行錯誤する様子が見られました。

「運動サーキット」では、バランスブロックを自分たちで並べ替え、オリジナルのコースづくりに挑戦。子どもたちの自由な発想が活かされた遊びが展開されていました。



つながりから広がる、これからの都島の過ごし方



「京橋にぎわいマルシェ」は、2040年に向けて都島区のこれからのまちづくりを考えていくための取り組みの一環として、都島の緑や公共空間を活かし、新しいコト・モノ・ヒトに出会えるきっかけづくりとして開催しました。

イベントを通じて生まれたつながりやにぎわいなどもヒントに、これからの京橋エリア・都島区での新しい過ごし方を、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。今後の活動へのご参加をお待ちしています！

REPORT 「都島 Meets NATURE 2026」を開催しました！

都島区北部の魅力である、川・風・緑をより身近に感じてもらえるミニツアーや、自然あそびを楽しめる、都島 Meets NATURE 2026を3月14日（土）に淀川河川公園（毛馬地区）で開催しました。

ミニツアーでは、普段は立ち入ることができない淀川大堰を歩いて渡ったり、魚道で魚を観察したり、淀川河川公園で気になる草花を探したり、淀川の水を汲んでみたり。いろいろな視点で自然を楽しみました。

自然あそびエリアでは、草花を使って絵を描いたり、たこあげをして風を感じたり、木の実や枝を並べてアートにしてみたり。みなさんの自由な発想で、身近な自然を見て、聞いて、触って、感じることができました。



都島 Meets NATURE フェノロジーカレンダーとハンドブックができました！

都島 Meets NATURE 2026でお披露目した、フェノロジーカレンダーとハンドブック。区役所1階の区民情報コーナーで配架しています！ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



詳細については、
都島Meets NATURE
プロジェクトホームページ
よりご覧いただけます！



「都島区まちづくりビジョン2040」のパブリックコメントを実施します

都島区では、ワークショップやキーパーソンインタビュー、区民まつりでのアンケートなど、様々な方から、ご意見を伺いながら、「都島区まちづくりビジョン2040」の案をとりまとめました。

そこで、パブリックコメントを実施して、広く皆さまからのご意見を募集します。

募集期間 **5月18日（月）～6月18日（木）**

→詳しい内容は、ホームページよりご確認ください
(5月12日公開予定)

リンクは
こちら↓

